

篠養だより



「夢と希望を抱き 心豊かに たくましく生きる子の育成 ～ 明るく いきいきと ～」
◇丹波篠山市立篠山養護学校 ◇丹波篠山市沢田120-1 ◇tel 552-5237 ◇fax 552-6222
幼稚部1名 小学部20名 中学部11名 高等部13名 計45名 早期発達支援室3名 総計48名 号外編

令和4年度 ささよう発表会の講評(当日より)

【早期発達支援室】劇『にんじゃしゅぎょう、がんばるぞ!』

3人の忍者が、跳んで、走って、カー杯修行をがんばりました。修行でつけた力を、これからの学校生活に生かしてください。修行はまだまだ続くと聞いています。3人の忍者の成長が、とっても楽しみです。



【幼・小学部】劇『きらリンピック ～21人 真冬の大冒険～』

聖火ランナーがバトンをつなぎ、聖火台に点火!とっても上手に点火できました。そして、ついにキラリンピックが始まりました。

21人の選手が、運動チーム、ダンス・音楽チーム、学習チームの3つに分かれ、いろんな種目に挑戦しました。全員が金メダルをとれて、本当によかったです。

金メダルをとるために、友だちや先生たちと練習をがんばってきたこと、忘れないでください。



【中学部】劇『ないた赤おに』

中学部は、名作『ないた赤おに』に挑戦しました。大きな声ではっきりとセリフが言えました。話の内容もとてもよくわかりました。友だち思いの「青おに」と「緑おに」の手紙には、おもわず涙が出そうになりました。

「優しさって何なのか」「人を信じるって何なのか」

「友だちって何なのか」

いろんなことを考えさせられる劇でした。役者たち一人一人の名演技が光りました。



【高等部】劇『SASAYOU QUEST XIII

～ひとつの”わ”になろう～』

「ささよう・クエスト」。ゲームの世界を舞台上で演じるというオリジナリティーあふれる発想が、さすがは高等部。素晴らしかったです。13名の勇者が、目的を達成するために仲間と力を合わせ、困難に立ち向かう姿が、今の高等部の生徒の姿と重なり、とても頼もしく感じました。

3年生の皆さんにとっては、今回が最後のささよう発表会となりましたが、どうでしたか。

これまで、ささようのリーダーとして活躍してくれたこと、後輩たちに優しく接してくれたことに感謝します。今回の劇を通して、高等部の生徒と先生たちとの絆が深まり、「ひとつの”わ”になる」というテーマが達成できました。この感動を、いつまでも忘れないでください。



さて、“クエスト”という言葉には、“冒険の旅”という意味があります。皆さんの冒険の旅はまだまだ続きますが、これからも、仲間を大切に、そして、いつまでも「明るく いきいきと」歩いていってください。ささよう発表会、大成功!

後になりましたが、保護者の皆様、オンラインでのご視聴、ありがとうございました。今後とも、本校の教育活動に、ご理解とご支援をお願いします。